

1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-18.2	2.6
② 銀座店	-18.4	5.0
③ 浅草店	-12.0	-1.6

- ① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
- ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
- ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
銀座本店	40.8	31.6	36.9	15.9	1.0	13.9	18.1	6.5	12.9	-1.0	-9.1	-18.2
松屋銀座	43.6	35.2	38.5	16.0	2.4	14.9	18.9	6.9	16.9	0.0	-8.3	-18.4
松屋浅草	-8.4	-15.8	4.1	12.4	-19.0	-9.1	3.5	1.9	-38.4	-19.2	-15.3	-12.0

3. 店舗別商況

銀座店	4月の銀座店の売上高は、前年に対して約18%減となりました。商品別では、化粧品の免税売上高を除く国内顧客の売上高が前年比約1.2%増と前年を上回り、また、顧客様に向けた盛夏物商材の各種販売促進策が奏功し、プレステージラインの婦人衣料品において同17.1%増、婦人衣料全体でも同6.1%増となる等、国内顧客の売上高は同約2%減とやや前年を下回ったものの、引き続き、銀座店の強みとなるカテゴリーが全館を牽引いたしました。一方で、免税売上高につきましては、靴・バッグ等を軸としたラグジュアリーブランド等の一般品が低迷(同37.4%減)また、化粧品を中心とした消耗品も同1.8%減と僅かな差で前年を下回り、全体として同約34.3%減となりました。
-----	---

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-2.1	-2.1
婦人服・洋品	-6.7	-6.5
子供服・洋品	8.0	8.0
呉服寝具他	-26.6	-20.5
衣料品計	-5.6	-5.2
身廻り品	-31.8	-31.9
雑貨	-5.8	-2.6
家具	-29.7	-29.7
家電	254.1	254.1
家庭用品	-30.0	-30.1
家庭用品計	-20.5	-20.6
食料品	6.3	8.6
食堂・喫茶	6.7	5.8
サービス、その他	-10.3	-11.4
合計	-18.2	-18.4

※「2025年5月売上速報」は、6/2(月)16時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松 屋 総務部 コーポレートコミュニケーション課
Mobile : 070-4547-7555